



第70号 2006年 7月

発行:萩ネットワーク協会  
 〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
 TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458  
 萩ポータルサイト「萩・情報の駅」  
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

萩市浜崎の住吉神社は、古くより住吉様と呼び親しまれ、航海安全の神として崇敬されてきた。夏季例祭も住吉祭りと呼ばれ、秋の天神まつりと共に、城下町・萩の二大祭礼として、江戸時代からの賑わいを今に伝えている。

今も昔も住吉祭りの呼び物に御船（山車）の巡行がある。台車の上に萩藩の御座船を模した長さ7mを超える木造の船を乗せたもので、数十人が引いて町を巡る（巡行は8月3日）。御船の上には、浜崎町の地謡組に属する人々が乗り、町の辻々において江戸時代より伝えられている「お船謡」を演唱する。祭りには現在でも、山車を見たりイベントや露店を楽しむために市内外から多くの人が集まり、これは江戸時代から続く住吉祭りの伝統でもあった。

住吉祭り

お船謡 - 夏の華 -



映画「長州ファイブ」完成 ..... P2  
 人間国宝 三輪壽雪の世界 ..... P3  
 ふるさと文学散歩③吉屋信子と私 ..... P4  
 ズームアップ「伊藤三八」 ..... P5  
 インタビュー「維新の里づくり協議会」 ..... P6  
 インタビュー「秋山壯」 ..... P7  
 同窓会だより ..... P8  
 会員からのお便り ..... P9

目次

下田市「松陰の小径」、阿武町 ..... P10  
 萩たまげなす全国放映 ..... P11  
 夢追人「赤崎望」 ..... P12  
 陶芸家・波多野英生 ..... P13  
 萩博物館・浦上記念館だより ..... P13  
 情報アラカルト ..... P14,15  
 夏のイベント ..... P16  
 日本各地の萩③二代目品川駅長 ..... P16

# 映画「長州ファイブ」完成！

## 英国大使館で試写会、来春全国公開

幕末期、英国に密航し、近代日本の礎を築いた長州藩の5人の若者たち（伊藤博文、井上馨、遠藤謹助、山尾庸三、井上勝）の青春群像を描いた映画「長州ファイブ」が完成し、6月19日、英国大使館で試写会が開かれました。今年11月に山口県内で先行上映、来年3月に全国ロードショーの予定。



### 【映画のストーリー】

幕末期、長州の若き志士、伊藤博文たち5人は、佐久間象山が発した中国の故事「敵を知り、己を知れば百戦、危からず」の言葉に発奮、吉田松陰の国造りの教えを胸に、命懸けで英国に密航する。

時は、1863年。ロンドン大学で学びながら5人は、造幣、造船、鉄道などをむさぼるように見聞きし、産業革命により近代化の道を進む英国の最新技術や知識を吸収していった。

### ◆監督 五十嵐 匠

（7月14日に萩市民館で開催される萩市民大学教養講座で講演）

### ◆主なキャスト

松田龍平、寺島進、原田大二郎、泉谷しげる

試写会には、フライ特命全權大使、安倍晋二官房長官をはじめ、山口県選出の河村建夫衆院議員や林芳正、岸信夫参院議員、野村興児萩市長、長州ファイブ萩サポーター世話人の池本和人氏（池本整形外科院長）など約

70人が出席しました。フライ大使は「長州ファイブは日英関係の出発点。大使館で上映するのをうれしく思う」とあいさつし、5人が留学したロンドン大学長からのメッセージを披露しました。試写会後、安倍官房長官は「映画を見て血が騒いだ。国威を冒して、



△試写会での舞台あいさつ（安倍長官の右が五十嵐監督）

国の発展のために尽くした彼らのおかげで、今日の日本があることをあらためて感じた」と話しました。試写会は、5月15日に萩市で行われたほか、下関市、山口市でも行われています。

## 横田めぐみさん家族

### 拉致前に萩に旅行



△新潟日報の写真（城下町・堀内を家族で散策）

4月27日、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの母早紀江さんが、米下院公聴会で拉致問題について証言。この席で、早紀江さんが拉致被害者の家族の悲痛な思いを訴える中、めぐみさんの弟の拓也さんが小学校時代に家族で撮影した写真を高く掲げました。



△4月29日の朝日新聞の記事。拓也さんの右手に持っているのが萩の写真

横田さん家族は昭和47年に東京から広島に転勤。その頃、萩や津和野をはじめ、山陰地方をよく旅行されていたそうです。昭和51年に新潟に転勤となり、その翌年に悲劇が起きました。

# 萩焼の造形美 人間国宝 「三輪壽雪の世界」

## — 7月から東京などで初の回顧展 —

萩焼の重要無形文化財保持者（人間国宝）で、96歳の今なお現役の陶芸家として活躍している三輪壽雪氏の80年に及ぶ作陶生活の集大成として、7月から全国5か所で回顧展「人間国宝 三輪壽雪の世界」が開催されます。

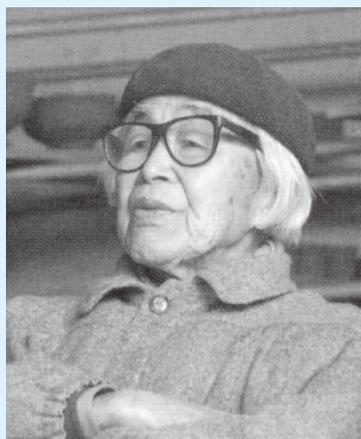
開催期間	開催場所
7月15日(土)～9月24日(日)	東京国立近代美術館工芸館
10月7日(土)～11月26日(日)	山口県立萩美術館・浦上記念館
2007/1月2日(火)～14日(日)	福岡三越
2月7日(水)～18日(日)	名古屋・松坂屋美術館
4月21日(土)～6月24日(日)	茨城県陶芸美術館



△鬼萩割高台茶碗(2006年)

## 三輪壽雪氏

1910年(明治43年)、三輪窯9代雪堂の三男として萩市に生まれる。旧制中学を卒業後、兄の10代休雪(後の休和)に師事。55年、45歳から「休」と号して、日本伝統工芸展などに出品活動を始める。



67年に11代休雪を襲名し、83年には兄に続き人間国宝(重要無形文化財「萩焼」保持者)に認定され、名実ともに日本を代表する陶芸家の一人となる。2003年に「休雪」号を長男に譲り、「壽雪」と改名して作陶活動を続けています。

## 内容



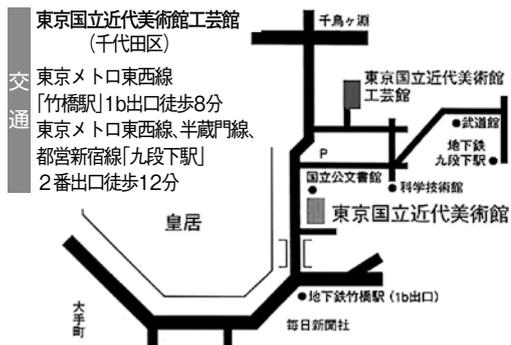
△白萩手桶花入(1965年)

① 修行と「休」の時代  
 ② 11代「休雪」襲名  
 ③ 大器「鬼萩」の創生  
 ④ 「壽雪」造形の清雅

の4つの時代に分けて、茶碗を中心に、独自性に富んだ水指や花入、初公開となる置物など、約180点の作品。

茶陶という分野に獨創性あふれる豪快な作風で新たな境地を切り開いた壽雪の創造の全貌に迫ります。

◆今回の展覧会にあたって壽雪氏にお話を聞きました。  
 —今まで私のやってきた作品を一堂に集めて、皆様方にご覧いただくということはありがたいこと。同時に、やはり一抹の不安もあるわけで、私のこれまでの仕事がこれしかのものか、皆様方に思われるのではないかとという懸念がある。今さらどうにも仕方なし、成り行き任せです。  
 —私のライフワークは鬼萩割高台茶碗。これからもなお余生あるとすれば、引き続きそれを突き詰めていきたい。



観覧券が必要)

※料金400円(茶菓代、別途)

※先着50人(呈茶券は午前10時から当日のみ販売)

▽工芸館会場

▽会期中の土・日曜日及び祝日

午後2時～4時30分

による呈茶

●三輪壽雪氏の作品(茶碗)に

※聴講無料、申込不要、先着35人

▽工芸館会議室

萩で活躍する陶芸家・兼田昌

尚さんを招いて、その造形志向

を伺い、制作のデモンストレー

ションを行います。

●トーク&デモンストレーション

▽8月20日(日)午後1時30分

■会期中のイベント

中学生は無料)

観覧料 一般800円、大学生

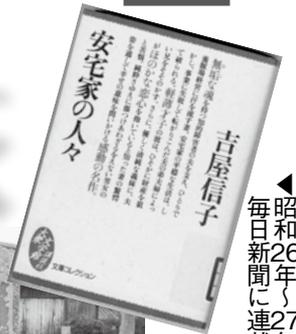
500円、高校生300円(小

東京国立近代美術館工芸館

招待券  
プレゼント

東京国立近代美術館工芸館で開催されるこの展覧会の招待券3名分をプレゼントします。事務局まではがきでお申込みください。

# 吉屋信子と萩



吉屋家の墓

**萩**の町には寺が多い。とりわけ北古萩を中心に形成された寺町は、歴史を感じさせる独特の雰囲気を醸しだしている。51カ寺もが散在するその一角の瓦町に蓮池院がある。毛利秀就が開基となり、秀就自ら境内の蓮池にちなんで院号を蓮池院としたという。

蓮池院の墓所に女流作家吉屋信子家の墓がある。

吉屋信子の父は毛利藩で掃部頭を勤めた藩士の子で明治になって新政府に出仕した。

吉屋は父の赴任地新潟で1896年(明治29年)五人兄弟の末っ子として生まれた。末っ子でただ一人の女の子であったから、家族の愛情を一身に受けた。

しかし封建的な時代、男性中心思考の愛情は女性に精神的従属を感じさせるもので、自立を求める吉屋にとっては束縛でもあった。吉屋はそこからの内面

の暮れに訪れる。大正8年の記念すべき出来事をのちにこう記している。

「父君は我が文学に志すを半ば喜び半ば憂い給いぬ。常に仰せらく「男ならかまわんが」と。その父君胃癌を病みて八年前の七月下旬逝き給う、享年六十有余才。その年の十二月我は大阪朝日新聞にて処女作の長編「地の果てまで」当選の栄を蒙りしを、嗚呼、その時すでに父君おわしませず、母君泣きて当選の報を仏前に供え給いぬ。さもあらばあれ、父上今は安らかに郷里長州萩蓮池院の墓所吉屋家代々の墓石の下に永久に眠り給うなり。」(たそがれの絵 父は足尾鋳毒事件の際には郡長として行政と田中正造を中心とした村民との間に立つて調整に苦勞など実直な官吏として励んだひとであった。

父の死は吉屋にとって大きな衝撃であったが、一方で重圧か

26年新聞に連載した「安宅家の人々」が挙げられる。理想の男性と女性の友情という主題を正面から取り上げた力作で「自己を見つめ、洞察する心」「女を男の従者とする男女関係への批判」に貫かれ反響が大きかった。この時吉屋55才「人生のたそがれによき仕事残すべし」と述べている。

翌年「鬼火」で女流文学賞を受賞。彼女は旺盛な創作意欲で多くの作品を書いたが晩年の作品「徳川の夫人たち」「女人平家」がブームを引き起こすなど息の長い作家活動であった。

**吉屋**は自らの生い立ちと父交じった感情を幾度か表現している。

「私の父母とも、先祖代々の土地は今の山口県萩市である。物心ついた頃から私の耳にたこが出来るほど、吉田松陰、伊藤

出した同じ土地に生まれて育つたくせに、どうして父はもつと立身出世した官吏にならないのだろうかと私はひそかに懐疑に陥った。また母は母で、父の赴任地が、この郷里を去ること遠い北陸や関東地方を転任していたので、郷里の食味を恋するこゝたいへんで、萩という町がいかに豊富なお魚に恵まれ、川魚には鮎もあり、果物には新鮮なくねんぼ、夏みかん、だいたい、そういうものが自分の実家の裏庭にたわわになった話をする。

その証拠のように、季節になると両親の郷里から、夏みかんが大きなかごに詰めて送られてきた。それからもうひとつ萩名産の蒲鉾がある。これはひどく皺ばんで、みたところちつともおいしそうでないが、母は珍重してお酒の肴にし、お弁当のお菜にいれ、古くなる味を付けて煮た。それから萩わかめ、白すぼし、等々…。

それをせっせと料理して子どもたちに食べさせた。郷里出身のえらい人たちにあやからせるつもりだったのかも知れぬ」(略)「父の死ぬ時の遺言は、父祖代々の墓のある萩の蓮池院に埋めるようにということだった。そしてそこに墓は建てたけれども、子どもたちがお参りに行くのにあまり遠いので分骨して東京多摩にもささやかな墓地をつくった。

位階勲等が堂々と肩書きに彫つてあったので、私はとてもはげしい思いをした。その町は実に古風にしつとりした、かつての城下町らしい町で、昔の家老格の邸の土塀や家も、門長屋などもまたそのままに残っていて、その塀ごしに、たわわな夏みかんの木が茂っていた。やはり萩はいいところだと思つた」

吉屋のこの墓参について蓮池院の松本善雄住職のご母堂千恵子さん(86)は、「夏の日でした。女関先に女性がお立ちになって、吉屋ですと挨拶されました。私がお説話を書かれる吉屋さんですか、といえますとハイととても嬉しそうです。

墓所にお連れしましたが、お父様の墓前ではしばし目をつむっておられました。お帰りの時は随分と気が晴れたご様子でした」と当時を振り返って話された。

**父**とその思考に強く反発しながら人間としての自立を求め続けた吉屋であったが、年輪を重ねることで父の人生や父の情愛のあり方を理解できる心境になったのだと思う。

吉屋はきつと「お父さん、道は異なつたけれど私も頑張つたのヨ」と言いたかった、そしてなによりも愛する父に自分を認めて欲しかったのではないだろうか。

的逃避の意味合いを込めて投稿少女となる。さらにその延長線上の思いを胸に大正4年、家族の反対を押し切って上京、文筆活動に入った。転機は吉屋23歳

らの解放をも意味していた。男性優位社会の不条理を吐き出すように、ラディカルな思いを一気に作品にぶつけていった。吉屋文学の精神的凝縮として昭和

博文、山県有朋そして木戸孝允、それからなんとか、なんとか、えらい人たちが出身した土地だと聞かされた。それを聞く度に、そんなえらい人たちの輩

お陰で私たちは助かっているのだが、やはりほんとうの墓をみておきたいと萩に出かけたことがある。父の墓はわりに大きく、それにあまり自慢にもならない

夏のはれやかな日差しがふり注ぐ蓮池院の墓所に立つ吉屋信子の心の内を想う。  
 (高井 誠 エッセイスト  
 日本ペンクラブ会員)

公認会計士・税理士

伊藤 三八 氏



東京都在住、萩市明木出身、平成2年萩商業高校卒、34歳

私の近況

旧旭村明木出身の伊藤三八と申します。現在、公認会計士・税理士事務所の代表として仕事をしております。この仕事を始めて今年で11年目となりました。会計、税務の面からおお客様の成長をサポートできるように精進する日々です。また、経済特区で認められた株式会社「デジタルハリウッド大学」

(東京都千代田区)の助教として会計分野の講義を行っております。

萩の思い出

出生して18年間、萩で過ごしました。当時は東京への憧れもあり、田舎で過ごすことに劣等感を感じていました。しかし、最近では萩に帰省すると「ほっと」します。やはり根は田舎者

萩への提言

で、萩が一番自分の性に合っているのだと思います。思い出は明木図書館に立ち寄りて宿題をしたり、遊んだことです。今思えば、日頃から図書館を利用する機会が多かったことはとても有意義なことだったと思います。

萩市の抱えている諸問題に関して一人や行政単独では解決することは不可能だと思います。多面的な検討が問題解決の糸口になると思います。17年度に開催された「萩まちづくり推進懇話会」で強く感じました。今後

もこのような会合を継続してほしいと切に思います。萩懇話会に参加して萩市出身の人は1.1倍郷土愛が強いと感じました。多数・複雑な問題に対して、問題の根源を正確に見つけ出し、その問題に関わる分野のやる気のある人を集めて検討する場を設置することが重要だと思います。以下のテーマで懇話会を開催してほしいと思います。

- **生涯学習、教育分野**  
 簿記推進懇話会 萩市は簿記との係わり合いがとて深い町です。簿記の推進によるメリット、体系的な学習カリキュラムを構築して、特に農業分野における積極的な導入を推進
- **萩歴史検定、漢字検定、数学検定推進懇話会** 萩ものしり博士検定のみならず、漢字・数学分野まで広げて推進。たとえば、山口大学教育学部等の大学機関と連携して、小学生から高齢者まで歴史、漢字、数学を体系的に習得できる仕組みを検討
- **アカデミック・コミッションの設置** 萩における学術的な研究をする際に行政支援窓口を設置。萩は歴史だけでなく、浜崎地区等の建築分野、見島牛等の畜産分野など、学術的な研究対象があります。学術的な研究支援は萩市へにもフィードバック
- **経済分野**  
 ○ **農業向上懇話会** 農業の向上・再生を目的に、生産者、卸、小売、消費者、学識経験者により、萩市における農業問題を横断的に検討し、将来の構想を築く
- **山林円滑取引懇話会** 山林所有者の抱える問題は年々大きくなっていきます。また過疎化によりこの問題はより深刻化しま

最後に

す。山林所有者の、管理、相続、売却、税金における現状の問題を抽出し、山林を取り巻く円滑な取引を促進。

実兄と共同して、「田舎っぺ倶楽部」を設立準備しています。既に用地は確保しています。イメージは日本テレビで放送されている「DASH村」です。タレントのTOKIOが村づくり、にチャレンジする企画です。この企画に興味のある方は是非ご一報下さい。

問い合わせ 代表 伊藤 一示 (一級建築士・認定農業者・古民家再生会員)、萩市明木蔵屋 0838・55・0270

プロフィール

- 昭和47年 旧旭村明木生まれ
- 平成2年 萩商業高等学校卒
- 平成6年 山口大学経済学部卒
- 平成7年 会計士補登録
- 平成11年 公認会計士登録
- 平成12年 税理士登録
- 平成12年 伊藤事務所開業
- 平成17年 デジタルハリウッド大学助教



▲旧松本村のほぼ中央、玉木文之進の旧宅に生まれたという藤原会長、本名文一の「文」は玉木文之進から一文字拝借。原田事務局長の生家もこの隣接地。自慢の地図を持って熱く語る藤原会長

# 維新の里づくり協議会が ガイドブック「維新の里めぐり」を出版

吉田松陰の誕生地、墓所、松下村塾、また、下級武士の住まいや藩士の別荘地でもあった旧松本村地区。平成16年6月20日に発足した地域住民による町づくり組織「維新の里づくり協議会」が、その集大成とも言えるガイドブック「維新の里めぐり(仮題)」を出版する。同協議会の会長藤原文一氏(協和建設工業 取締役相談役)と、事務局長の原田利正氏(日進電気工事 代表取締役)に、お話を伺った。

強いガイドとなると思います。また地元住民が実際に歩いて見て、確かめた情報が記載されているため、情報の中身も濃く、まさに住民でないと作れない地図だと自負しています。この活動を通じて、住民である自分達も知らないような史跡に出合ったり、検証の過程で新たな事実が判ったりと、住民である自分達にとっても数多くの新発見がありました。

ブック「維新の里めぐり(仮題)」を、史都萩を愛する会の松田輝夫会長の監修のもと出版することになり、ただいま校正作業の真っ最中、発売は7月の予定です。この出版物を通じて、多くの方に旧松本村地区の素晴らしさをお伝えできればと思っています。

## 住民手作りの

## 「維新の里散策マップ」

会員が手分けして1万2500分の1縮尺の都市計画図を手で現地を踏査、現地で収集した情報を公会堂に持ち寄り、文献と照合したり、「昔あそこには茶室があった」とか「あそこは庭石と池は昔のまま」とか、会員の幼い頃の記憶を辿りながら大きな地図に書き入れていくという地道な作業を行いました。

普通、観光マップといえばデザイン的なものが優先されて、実際に歩くとなると地図のおりではないといったことがしばしばですが、私達が作った地図は縮尺・方位・道路付けが正確で、しかも昔の三尺道(幅1m弱の道)まで地図上に落としていますので、実際に歩く際には

## ガイドブック「維新の里めぐり(仮題)」を出版

この地図を持って旧松本村地区を散策する「維新の里歩こう会」も過去に2回開催、萩市民はもちろん県内他市からの参加者もあり、大変好評、今年度も第3回目を開催の予定です。

そしてこの7月、活動の果実とも言えるこの地図と、旧松本村の史跡等を解説したガイド



▲維新の里歩こう会、昨年度の様子(参加者は約80人)

## 住民有志による「維新の里づくり協議会」結成

萩市が提唱した「萩まちじゅう博物館構想」がきっかけとなり2年前に権原地区の住民有志による「維新の里づくり協議会」が結成されました。権原を中心とする旧松本村地区には、萩のアイデンティティとも言える吉田松陰先生の誕生地、墓所、松陰神社、東光寺、そして伊藤博文をはじめとする多くの志士達の旧宅など、維新ゆかりの史跡が数多く点在し、まさに明治

維新胎動の地です。この萩の貴重な財産を守り、顕彰し、そして町づくりに生かすべく、地域の住民が発意し、主体となって住民参加の組織を作り、活動を開始しました。地区の人たちに声を掛けたところ瞬く間に正会員33名・賛助会員15名が集まりました。自分が生まれ育った地域への愛着が強い、ということはおもろいですが、日常的に観光客からいろいろと聞かれる際に、旧松本村に関する統一されたテキストブックが無いため、十分な説明ができなくて歯がゆ

▲秋山さんの指導で子供たちが作った竹トンボ。



### インタビュー

純粋な幼い笑顔が原動力です。

竹とんぼ名人

つよし 秋山 壯 さん

(萩市山田在住、63歳)



▲子供たちに竹トンボ製作を指導する秋山氏。眼差しがとっても優しい。

### 昨年は何と4700本

竹トンボ教室の開催、昨年はなんと50回、子供たちと一緒に作って飛ばした竹トンボの数は一年間で4700本にもなりました。今の子供たちはテレビゲームに代表されるようなハイテクおもちゃに囲まれて、自然の素材を使って自らの手で作ったおもちゃで遊ぶという機会はほとんど無くなったように思います。昔遊びの代表格である竹トンボを自分で作って、好みに色にデザイン、何度も試験飛行しつつサンドペーパーで微調整、最終的には大空に舞い上がる、この一連の過程を子供たちに経験してもらいたくて始めたのです。昔から竹トンボには関心があって、今のようなイベントを本格的にやりだしたのは7〜8

年前、当時「萩市子ども会連合会」が主催していた「わんぱく広場」を見たのがきっかけでした。

### 原動力は、子供たちの笑顔と歓声

おかげさなイベントではありませんが、実は舞台裏は大変。原材を数から切るところから始まり、子供たちが刃物でケガをすることは大変ですので、竹を割つて必要なサイズに切り出し、おまかな整形までは事前にやらなくてはなりません。多い時には一回のイベントで200本近く必要ですから、イベント前の数日は夜なべ仕事になってしまいます。年間50回ということでは、ほぼ毎週ということですから、結構この歳になるとキツイ

というのが本音です。ただ、子供たちと一緒に作った竹トンボが上手に飛んだときの子供たちの笑顔と歓声、これを目の当たりにすると、疲れも吹っ飛びます。この純粋な幼い笑顔が、何ものにも替え難い自分の原動力なのです。

### ■プロフィール

昭和18年6月萩生まれ、満62歳。明倫小、第一中学、萩商工高（土木科）。高校卒業後、建設会社に就職し、その後自営で建設土木業に従事。55歳の頃、体調を崩して現役を引退。現在は、竹トンボを中心とした昔遊びを子供たちと一緒に体験するイベントを、年間50回程度開催し好評を得ている。NPO萩まちじゅう博物館の会員として萩博物館を拠点に活動中。

### プレゼント

ガイドブック「維新の里めぐり」3冊、「竹とんぼ」2セット、三輪書雪展の招待券3枚を抽選でプレゼントします。ご希望の方は、住所・氏名・電話番号・近況など明記の上、官製ハガキで萩ネットワークプレゼント係まで応募ください。7月末日消印有効。

### 会員からのお便り

### 写真でみる萩今昔

私は、昭和29年萩商工卒で、いつも懐かしく「萩ネットワーク」を読ませていただいています。昭和32年に上京し、昭和35年10月に春日神社で結婚式を挙げました。3年ぶりの萩で、懐かしくあちらこちらと写真を撮りました。現在、萩にも2年に一度位は帰っています。昭和三十五年十月の萩の写真を数枚同封しました。

萩商工の商業科の29年卒で、毎年同窓会を行っています。まだ3回しか参加したことがありません。もう一度出席したいと思っています。

阿武 功（東京都羽村市）

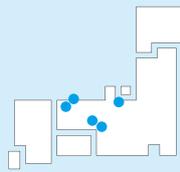


萩駅前（昭和35年）駅前を中心商店街として栄えていた。



現在の萩駅前 今は無人駅となり、平成10年改築。鉄道の父・井上勝の資料を展示している。

# 同窓会だより



★事務局からのお知らせ  
 クラス会、同窓会、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。萩ネットワーク事務局まで、お送りください。また事前にご連絡いただければ、資料をお送りします。

お年寄りの船頭さんのユーモアを交えた絶妙の観光案内には全員が感服！  
 「おたから博物館」は全国ネットでPRしたくなるような素敵なイベントでした。雑魚場食堂も素朴で、美味しかったとは全員の一致した感想でした。  
 2年後は関西・中部の担当で開催予定です。

## 会員投稿

5月20、21日  
**今田会**  
 萩本陣（萩市）

多田耕弥さん（千葉県佐倉市）からの投稿です。  
 私達の同窓会（クラス会）今田会（明倫小1部6年4組 昭和28年卒）は各地持ち回りで2年ごとに開催しています。  
 毎回9月20日前後に集うのですが、5月に催される「浜崎伝建おたから博物館」に合わせて繰り上げての開催となりました。

いつもは25〜26人の出席者があるのですが、早めの実施のせい、今回は19人とどまりました。しかも、指月中の同窓会も同日開催とのことで、2人が同窓会のハシゴを決行しました。2日目の朝、「萩八景遊覧船」に乗って、まさに視点を交えての萩・再発見の一時でした。



▶萩八景観光遊覧船

7月で3年目に突入。指月山や武家屋敷を川や海から眺め、涼みながらの40分コース。

▽指月小橋横（堀内）登着

▽大人1200円、子供600円

萩市観光課（☎08388・253139）



## 会員投稿

5月26、27日  
**萩高七期会**  
 北陸（福井、石川県）

近藤安弘さん（東京都練馬区）からの投稿です。  
 古希北陸の旅、東京七期会は第32回同期会を、関西七期会と合同開催。5月26〜27日、「荻原温泉」に一泊して、新緑の北陸路を旅しました。

東京組は琵琶湖のほとりで関西組と合流、永平寺・東尋坊を観光して、荻原温泉に一泊。翌日は那谷寺・安宅の関を経て、金沢で加賀料理の昼食、兼六園や市内を散策しました。

幸い天候に恵まれ、北は茨城から南は福岡に至る各地からの参加者は41人。「はあ、うるうたでえ」ちゅうぐらい、ええ旅でした。

幹事代表 浅野智（東京都）



▲兼六園にて

4月16日

## 大阪指月会

大阪弥生会館（大阪市北区）

76人出席。会長は中山光夫氏（萩高4期卒）。今回は61回目の同窓会。山縣喜一会長から同窓生が2万人を突破したとの挨拶。

山下浩・萩高校校長からは「今年の新入生は200人、全校で600人。正門入口の管理棟として使われた本館を建て替え中、和風の新本館が7月末までに完成する」と学校からの報告がありました。中山会長と広島指月会長の西村不可止氏が描かれた絵画のオークションもあり、会は盛り上がりました。連絡先は中山会長（06・6458・6008）



5月13日  
からたち会総会  
萩工業高校体育館（萩市）

200人出席。今年で41回を迎える総会の引受期は、昭和51年、61年、平成8年の卒業生で、代表は岩崎睦生さん（土木51年卒）。

総会で、浅原司校長から、昨年度の卒業生が年度内に全員進学または就職が決定したこと、また今年4月に開校した萩商工は、平成20年3月までに萩工業の校舎を全面改築し、4階建3棟の校舎になることを話されました。懇親会では、フォークソング演奏や恒例の福引き抽選が行われました。



6月10日  
からたち会関西支部  
民芸茶屋 豆狸（大阪市北区）

23人出席。支部長の木村幸美さん（41年卒）から「250人に案内状を発送し、190人は未回答であったのは残念。出席者への今年のお土産は、以前萩ネットワークで紹介されていた豊田物産（江崎）のウニ海苔とゆず海苔にしました」と挨拶がありました。

からたち会本部会長の山根満明さん（31年卒）から「今年からはからたち会の役員改選であつたが、引き続き4期目の会長を引き受けました。商業高校との統合は進み、体育館以外は建て替えると聞いている。以前の商工時代は17年間、商業・工業と分かれてから33年間、今年から新たな萩商工高校の歴史が始まった」と報告がありました。事務局は木村支部長（06・6875・0955）



会員からのお便り  
めーるぼっくす

○陶山淳子（旧姓万称）  
（広島市北区）

（萩昭和46年卒 第23回生）  
いつも、あなたと萩を結ぶネットワークを楽しく読ませていただいています。ありがとうございます。

最近、本を出版しました。萩出身の方にひとりでも多く読んでもらいたく思います。全国どこの本屋さんからでも取り寄せができます。

「すずらんの音色をあなたに届けます」新風舎 1000円  
（自宅で自立した日常生活を営めるように、本人や家族を支える訪問看護ステーション。その現場で奮闘する著者の体験記）



○菊野厚子（大阪市淀川区）

「藤田傳三郎」の名前は早くから知っていました。大阪の大河の花見に行つて記念館がある

事を知ると共に、これも何かの導きか、私の子供が藤田観光グループに勤めております。

傳三郎さんの一生をとりあげて欲しいと、もつと知りたいと思います。

○右田忠司（千葉県市原市）

ネットワークいつも楽しく拝読しています。5月号の防長三人旅の記は興味深い読物でした。昭和27年といえば私は東京に遊学中で、三人の方の訪萩は全く知りませんでした。

○岡村秀二郎（埼玉県川口市）

昭和38年萩高を卒業して40年、昨年2月に武田薬品工業を退職。今年の夏はゆつくりと時間をとつて孫達を連れて萩に帰ります。萩の良さを孫に見せたいと思います。

○坂本薫（愛知県安城市）

夏みかんというと、初夏の花の季節の香りとミツバチの巣箱が思い出されます。もう35年以上その時期に帰つた事がありません。なつかしい思い出です。

○重屋祥子（北九州市若松区）

萩ネットワーク毎月拝見でき幸せでございます。ふるさとを心に、失礼のない生き方をし

て参ります。「至誠にして動かざる者はいまだこれあらざるなり」いつも心に。  
PS 梅雨に入ります。皆さまご自愛下さいませ。

○藤山清（広島県安芸郡）

広島からスタートして最後は広島に戻り、36年のサラリーマン生活を終え定住しました。萩にも年に1、2度帰りますが、益田経田の海岸線の美しさは昔も今も変わらず、堪能しています。

○山田眞一（大阪府阪南市）

萩ネットワークが来ますと萩の香りを感じます。たけなかの竹中社長の人格に敬意を表します。会社を大きくしたいと言うより夏みかんの町としての萩をどんどん売りこんで行きたいと・・・感動しています。小さい頃、背戸の橙々の木から取つて食べた大きいダイダイを思い出します。

最近テレビで菊ヶ浜（東浜崎）の殺人事件や、気温30度と報じられた事等、萩が度々出てびつくりしました。

NHKラジオの交通情報で萩・石見空港の名前が出ますが毎日楽しみにしております。

# 下田市「松陰の小径」完成！

## 「海沿いの遊歩道」

▽遊歩道の全景、右手の弁天島には松陰・金子「踏海の朝」像がある



◀遊歩道



萩の姉妹都市、静岡県下田市に新たな観光散策道「松陰の小径」が完成しました。

これは、石張りの延長約800m、ゆつくり歩いて約20分。海の美しさと、夕日もまた素晴らしい遊歩道。

松陰の小径は、日本最初のアメリカ領事となったハリスちなみハリスの小径と、足湯のある「まどが浜遊歩公園」をつないでおり、小径の起点には、萩から贈られた、椿50本が植えられています。

コース沿いには、松陰と金子重之助の銅像「踏海の朝」がある弁天島や、萩出身の井上剣花坊の句碑、玉泉寺の日本最初の外国人墓地など、下田の観光ス

ポットが点在しています。

県が事業をすすめて、その中心となった萩出身の下田土木事務所厚東満課長は、「松陰のことを思いながら散歩しています。下田に来られたときは、ぜひお寄りください」と、下田の散策にはうってつけの小径です。

### ◎弁天島

1854年3月、松陰が金子重之助とともに、弁天島の祠から沖の黒船に向かって伝馬船を漕ぎ出した。しかし、乗船は断られ、海外渡航の計画は失敗。密航事件、踏海の企てと言われるものです。

## 萩国際大学

### 「山口福祉文化大学」に改称

萩国際大学の経営再建に取り組んでいる学校法人萩学園は、2007年度から大学名を「日本福祉文化大学」に改称すると発表していましたが、5月の理事会で「より地域に密着した名前にしたい」ということから「山口福祉文化大学（仮称）」に名称を変更しました。

現在、大学敷地内に学生寮（9階建、1Kバス・トイレ付き）を建設中です。

### オープンキャンパスを開催

来年度から生まれ変わる「山口福祉文化大学」を高校生や関係者に広くPRするため、萩国際大学キャンパスで5月から12月にかけて4回、オープンキャンパスを開催します。新学部や新学部、4つの新しいコースの説明やキャンパス案内、大学教授などによる授業体験が行われます。

#### オープンキャンパス日程

- 第2回 7月15日（土）
- 第3回 8月5日（土）
- 第4回 12月9日（土）

※いずれも午後1時～3時30分  
萩国際大学（0838・24・4000）

## 阿武町 岡林信康ライブを6年ぶりに開催

復活第11回 7月15日（土） 阿武町・町民センター



舩ネットワーク代表の長嶺さん

10年間続けられてきました。今回は6年の充電期間を経て11回目の開催となります。

長嶺さん

フオークの神様こと岡林信康さんのライブコンサートが7月15日（土）、6年ぶりに阿武町で開催されます。

主催するのは福賀のまちおこしグループ「舩ネットワーク」（世話人・長嶺吉家さん51歳・福賀）。「何か新しいことを始めたい。自分たちが楽しめることで地域の皆さんにも楽しんでほしい。子どもたちにも本物のコンサート見せたい」という理由で1991年から2000年まで



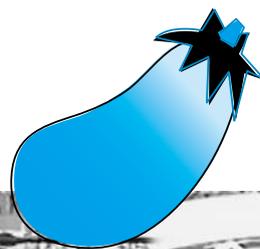
### 岡林信康コンサート

- ▷とき 7月15日（土）午後7時（開場6時30分）
- ▷ところ 阿武町奈古 阿武町町民センター
- ▷料金 一般3500円、60歳以上2500円、小中高生1500円
- ▷問い合わせ 舩ネットワーク事務局（08388・5・0418）長嶺

は、「岡林さんは今年60歳を迎えられます。第1回目の開催以来、休止期間中も交流をいただいている岡林さんの還暦のお祝いをしたいというのが今回の開催を思い立ったきっかけでもちろんファンの方々の再開を待ち望む声も大きな理由です。今回は幻の名曲「山谷ブルース」が披露されるかも。ぜひ、岡林さんの魂の鼓動・感動・躍動ライブを楽しんでほしい」と話しています。

# 萩たまげなす

## 「新どっちの料理ショー」 に登場!!



萩特産の萩たまげなすが、6月15日、日本テレビ系列の人気番組「新どっちの料理ショー」に登場しました。

その大きさにたまげ、そしてやわらかく味も良いことで二度たまげていました。

放送の翌日、市役所には「萩たまげなすを買いたい。どこで食べられる?」との問い合わせが殺到しました。

萩では、道の駅・萩シーマート(0838・24・4937)、アトラス萩(0838・26・0909)、井関商店(0838・22・0760)で購入できます。皆さんもたまげてください。

この番組は、特選素材を腕自慢のシェフが調理し、ゲストが食べたい料理を選ぶというもので、全国放映なので、ご覧になった方も多いのでは。

「夏目前!激うまカレー対決」をテーマに、萩たまげなすは「ナスと挽き肉のカレー」に調理。

萩のたまげなす部会の生産者19人も登場し、大きさ、おいしさをPR。

お皿に盛られたカレーには、大き目にカットされたたまげなすが、その存在感を圧倒。スタジオは、顔より長い萩たまげな

◎萩たまげなす  
田屋ナスと呼ばれるナスのうち、500g以上の品質の良いもののブランド名。収穫は5月下旬から7月下旬まで。果肉が柔らかくてきめ細かく、甘味があることが特徴です。

## 萩の穫れたて農産物が インターネットで買える!



豊かな自然と、大地の恵みがいっぱいの萩の農産物を、インターネットで気軽に買えます。

- ◎おすすめ農産物
- 相島の萩スイカ (6~7月)
  - 小川の桃 (7~8月)
  - あぶのメロン大使 (7月)
  - ふくがスイカ (7~8月)
  - 福賀の梨 (8~10月)
  - 小川の梨 (8~12月)
  - 阿北の栗 (9~10月)
  - しぶきの西条柿 (10~11月)
  - 奈古のキウイ (11~2月)

△あぶらんど萩の  
楽天市場店のサイト

「新鮮大地あぶらんど (www.abrand.jp/index\_abu.html)」のホームページから、右上のあぶらんど楽天市場店のマークをクリックします。そこには、コシヒカリ、醤油、みそなど毎日の食の必需品から、トマトや桃など萩で育った旬な農産物がそろっています。あぶらんど萩の楽天市場店 [www.rakuten.co.jp/abrand/](http://www.rakuten.co.jp/abrand/)

### 情報発信ターミナル

## おいでませ山口館 広島

広島市の中心紙屋町にオープンして3年目。山口県の観光、イベント情報、特産品を取り揃えています。さらに博で、広島



からの来場者が多く、広島からの観光客をもっと誘致しようとの開店しました。

「萩からは、JAの夏みかんゼリー、マルハギ物産の橙酢、岩川旗店の手拭いなどの商品が店頭を飾っています。特に2、3月には、椿まつりにあわせ、萩焼や瀬付きあじなどの特設ブースを設けています。萩に行けなくても、ここに来れば萩の品物が手に入ると、喜ばれています」と販売の井上さん。

小林マネージャーは「広島から萩へ行くアクセス情報も満載です。広島と山口の架け橋として頑張ります」と話されました。



★おいでませ山口館 広島  
路面電車(広島電鉄)本通り  
駅下車徒歩3分(広島市中区  
紙屋町2-2-2紙屋町ビル  
1階 広島銀行向い)  
開店時間 午前10時~午後6  
時、水曜休館  
☎082・504・7001  
<http://www.oidemase-h.jp/>



見島観光協会会長

赤崎

望

さん (53歳)

(萩市見島本村在住)

見島で赤崎旅館を経営、4年前に設立された見島観光協会の会長として、島おこしのため積極的に活動されている赤崎さんにお話を聞いた。

自衛隊員から  
島の旅館経営に

高校を卒業して自衛隊に入隊したのですが、母親の体調が悪く3年で除隊、見島に戻りました。もともと実家は農業で、下宿屋を兼業、その後拡張して旅館を営むようになっていきました。1980年には現在の場所に新館を建設、当時は「デイスカ

バージャパン」の最盛期、萩も観光客で賑わったように、離島もちよつとしたブーム、今では考えられないくらいのお客様が見島に訪れていました。その後、潮が引くようにブームも去り、正直旅館業は厳しい状況です。高速船「おにようず」の就航にも期待しましたが、やはり自然の力には勝てません。というのは高速船になっても、

時代の時はそれなりに揺れ、船旅に慣れないお客様には離島の旅情を味わうどころか、辛い時間を過ごすことになります。なんとも悩ましい思いです。

手つかずの自然、  
そして奥の深い文化

今後、見島が発展していくためには如何にして交流人口を増やすか、という一点に掛かっています。観光交流を考えた時、やはりこの島の手つかずの自然、そして奥の深い文化は素晴らしい財産だと思います。

その自然文化を観光に活かす手段として、ダイビングサービスを始めたり、離島の自然文化体験プログラムを策定したり、これまでも島の有志が力を合わせて努力してきました。

その流れのひとつとして、見島に古くから伝わる伝統「鬼ヨーズ」を題材に昨春秋「全国凧サミット in 見島」を思い切って開催しました。試験的なイベント開催でしたが、全国各地から約80人の凧愛好家が集まり、非常に充実した内容となりました。

今年も10月14〜15日、第2回目を開催予定で、全国各地の凧愛好家の輪を広げ、毎年継続していきたいと考えています。

見島の自然文化を、

島民自らが守る

一方、見島はバードウォッチングの全国有数のフィールドでもあり、毎年多くの愛好家が島を訪れます。先日も愛好家の一人から、見島に集う鳥たちの種類の多さに感激した、とお褒めの手紙を頂きました。また釣りで島を訪れる人たちも一様にその魚影の濃さと魚の大きさに驚いています。

確かに自然の豊かさという点では全国的にも自慢できると思いますが、一方で高齢化と人口減少の影響で、島には休耕地も目立ち始め、次第に島の生態系に変化が出てくる可能性もあります。また廃棄物の漂着や海洋汚染など海の環境変化も心配の種です。島独特の文化風習なども語り継ぐ人がだんだん少なくなってきています。

今後の見島を考える上で、この島の自然文化を島民自らが守ること、これが何にましても重要なテーマであると思います。島の自然文化を守りつつ、その価値を判って頂ける人を少しずつでも増やし

ていく、これが私自身の役割だと考えています。

●プロフィール

1952年(昭和27年)12月見島本村生まれ。島の小・中学校を経て、奈古高校を卒業。

自衛隊に入隊し、22歳で島に戻り家業の赤崎旅館を引継ぐ。見島観光協会会長など公職多数。多忙な仕事をこなしながらも、時化以外は見島沖に出て漁をする海人でもある。

■赤崎旅館

〒758-0701 萩市見島本村  
☎0838-233344  
Eメール: mishinakanko@

dance.ocn.ne.jp

萩港から見島へは高速船「おにようず」で70分。本村港から赤崎旅館へは徒歩5分。



▲海が似合う赤崎氏



▲俳優の松方弘樹氏(左)とはマグロ釣りで親しい仲。赤崎氏のガイドで念願の本マグロ100kgオーバーを仕留めた。

陶芸家 波多野英生氏

伝統工芸新作展で最高賞を受賞

5月に、日本工芸会山口支部の会員の作品を集めた「伝統工芸新作展」が山口市で開催され、最高賞にあたる支部長賞を、陶芸家波多野英生さん（萩市堀内在住、35歳）が受賞しました。

この展覧会には、萩焼、赤間硯、金工、木工、漆芸の5部門で、46人が117点を出品しました。

今回波多野さんが最高賞を受賞した作品「萩鉄釉鉢」は、直径55cm、高さ18cmの鉢。鉄のうわぐすりを生かした淡い色合いの器です。「作家の鋭敏な感性が十分に発揮された作品」と評価されました。

波多野さんは、1971年萩市の生まれ。山口県指定無形文

化財萩焼保持者の波多野善蔵氏（64歳）の二男です。多摩美術大学彫刻科を卒業後、京都市立陶工高等技術専門学校成形科、京都市工業試験場修了の後、98年から父に師事して本格的な萩焼を始めました。父の善蔵氏も、78年、第1回の同賞を得ており、親子2代の受賞となりました。

今回の受賞について、「嬉しい気持ちの反面、責任も感じています。萩焼は偶然にうまくできるときもあるので、安定して良い作品を作り続けることができると、力を上げていきたいです」と話す波多野さん。

萩焼の新世代を担う一人として注目の集まる作家です。



▲波多野英生さんと受賞作「萩鉄釉鉢」

◆波多野指月窯 山口県萩市堀内247 (0838・22・1784)

萩博物館だより

(0838・25・6447)

◎企画展

長州ファイブ

―密航留学生と明治維新―

7月1日～9月3日  
激動の幕末期、命がけで英国へ渡った長州出身の5人の留学生たち。彼らは西洋近代文明に衝撃を受け、新しい時代を切り拓く先駆けとなりました。

最近制作されたばかりの映画「長州ファイブ」の一般公開にあわせ、萩博物館が所蔵・保管



する資料、とりわけ、初代首相になった伊藤博文の関係資料を中心に紹介します。

◆学芸員によるギャラリートーク（展示解説）  
7月2日（日）、7月8日（土）以降の毎週土曜日午後1時30分～（約30～40分）

金閣寺・銀閣寺の名宝

9月16日～10月25日

◎萩再発見ギャラリ

「はしれ機関車！はしれ船！」

7月1日～9月3日

山口県立萩美術館・

浦上記念館だより

(0838・24・2400)

◎特別展示

雅／俗

―浮世絵に見る風雅と風俗―

6月10日～7月30日

「雅と俗」という言葉は、江戸文化が、「雅の文化」と「俗の文化」による複雑な展開により成立することを意味します。

「雅と俗」という視点から葛飾北斎、鈴木春信、伊藤若冲など、江戸時代の浮世絵を中心に、文人画、版画など209点を展示します。

陶器が語る来世の理想郷  
中国古代の暮らしと夢

―建築・人・動物―

8月12日～9月24日

建築物や陶製ミニチュア、舞い踊って生活を楽しむ人々や彼らと暮らす動物などを形にした俑など約110点を展示し、中国古代の人々の生活の息吹と夢をたどります。



▲住居 加彩（明時代）

開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）  
休館日 月曜日  
※祝日・休日の場合は翌平日  
入館料 一般1000円、学生800円

◎浮世絵展示

「月岡芳年 風俗三十二相」

7月9日まで

「浮世絵に描かれた動物たち」

7月11日～8月20日

「江戸のグルメ」

8月22日～9月24日

◎東洋陶磁展示

「やきものに象られた動物たち」

9月24日まで

# 情報アラカルト

## 関東地区

### ■三輪書雪碧心展

とき 7月11日(火)～18日(火)

ところ 東京都中央区 日本橋三越本店  
(03・3241・3311)

### ■日本海ふるさと街道味と技展

萩焼などが販売されます。

とき 7月14日(金)～19日(水)

ところ 神奈川県藤沢市南藤沢小田急百貨店藤沢店  
(0466・26・6111)

### ■世田谷ふるさと区民まつり

萩と世田谷区は吉田松陰先生の縁で友好都市の関係にあります。萩市コーナーで、地ビールや夏みかんジュース、海産物などが販売されます。

とき 8月5日(土)～6日(日)

ところ 東京都世田谷区上用賀JRA馬事公苑けやき広場(小田急線「経堂駅」下車)

## 関西地区

### ■陶芸の現在、そして未来へ

陶芸家 三輪和彦の作品が展示されます。

とき 8月27日(日)まで

ところ 兵庫県篠山市今田町上立杭4 兵庫陶芸美術館  
(079・597・3961)

### ■第1回パラミタ陶芸大賞展

全国の美術館、ギャラリー、評論家など美術関係者が「2006年最も活躍するであろう陶芸家」を推薦し上位8人をノミネート。一般来場者がノミネートされた作家の中から一人を投票して、大賞を選出します。

陶芸家 三輪和彦が推薦されノミネートされています。

とき 7月1日(土)～8月31日(木)

※一般投票期間は7月1日(土)～23日(日)、大賞発表表彰式は8月1日(火)  
ところ 三重県三重郡孤野町大羽根園松ヶ枝町21-6 パラミタミュージアム  
(059・391・1088)

## 中国地区

### ■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。  
とき 7月8日(土) 午後5時

ところ 広島市南区 ホテルグランヴィア広島  
(082・262・1111)

### ■たちばな会・からたち会広島

## 支部総会

広島地区の萩商高、萩工高の同窓会。

とき 7月8日(土) 午後6時30分

ところ 広島市南区的場町 ホテルセンチュリー広島21  
(082・263・3111)

## 山口県関係

### ■たちばな会周南支部

周南地区の萩商高の同窓会。  
とき 7月15日(土) 午後6時30分

ところ 周南市毛利町3-15 敦煌徳山店  
(0834・31・1901)

### ■山口県立美術館の展覧会

。常設展示室郷土工芸室「現代の陶芸」

陶芸家 兼田昌尚、故三輪栄造、故11代坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 8月20日(日)まで

ところ 山口市亀山町3-1 山口県立美術館  
(083・925・7788)

### ■毛利博物館の企画展

。描かれたお殿さま 毛利家代々の肖像画が展示されます。

とき 7月30日(日)まで

ところ 防府市多々良1-15-1 毛利博物館  
(0835・22・0001)

## 山口県現代工芸美術展

陶芸家 中村眞一、吉賀將夫の作品が展示されます。

とき 7月23日(日)～8月20日(日)

ところ 光市光井9-18-2 光市文化センター  
(0833・72・5800)

## 九州地区

### ■九州指月会

九州地区の萩高同窓会。  
とき 7月23日(日) 正午

ところ 福岡市中央区天神 平和楼(092・771・4141)

### ■からたち会九州支部総会

九州地区の萩工高同窓会。  
とき 7月29日(土) 午後6時

ところ 北九州市小倉北区 ステーションホテル小倉  
(093・541・7111)

### ■下瀬信雄の萩

写真家 下瀬信雄が萩の風景を撮影した作品が展示されます。

とき 7月6日(木)～25日(火)

ところ 北九州市小倉北区室町1-1-1 朝日新聞西部本社 朝日さんさん広場  
(093・563・1375)

## 萩市関係

### ■萩高同窓会八八会

萩高指月会の本部総会。今年

の引受期は43期(平成3年卒)。とき 8月8日(土) 午後7時

ところ 萩高等学校体育館  
(0838・22・0076)

### ■萩光塩学院同窓会本部総会

萩光塩学院同窓会の本部総会。  
とき 8月10日(木) 午後6時30分

ところ 長門市湯本温泉 大谷山荘(0837・25・3221)

### ■萩焼ギャラリー&ショップ「北國堂」の展示会

・Relation7

陶芸家 植草達郎の作品が展示、販売されます。

とき 8月7日(月)まで

ところ 萩市東田町 北國堂  
(0838・22・7333)

### ■ジャズコンサート

ラリー・ハリス(ピアノ)、リチャード・デイビス(ベース)、ルイス・ナッシュ(ドラムス)、近藤大地(ピアノ)によるコンサートです。

とき 8月20日(日) 午後2時～5時30分

ところ 萩市民館大ホール

料金 大人3000円、高校生以下1000円(全席自由席) チケット販売所 萩市役所案内

アトラス萩、喫茶ヴィレッジ(0838・25・6596) ほか

問い合わせ 萩市市民活動推進課 (0838・25・3590)

## 出版情報

■「吉田松陰」復刻版 玖村敏雄著

1936年に岩波書店から刊行され、教育者としての松陰像を確立した名著として高い評価を得ているものの復刻版。

著者の玖村氏は周南市出身。  
A5判／460ページ

## 新規加入会員ご紹介

(4月23日～6月23日)

加入者21人

伊藤三八さん(東京都千代田区)  
上領幹夫さん(香川県高松市)  
師井弘さん(山口県周南市)  
佐々木和朗さん(広島県呉市)  
藤本尚さん(萩市)  
安達英勝さん(埼玉県春日部市)  
野村純三郎さん(茨城県牛久市)  
沖山洋子さん(千葉県鎌ヶ谷市)  
杉本公恵さん(福岡県中間市)  
田村勲さん(島根県松江市)  
堀井栄一さん(石川県金沢市)  
上田益義さん(萩市)  
大草洋子さん(萩市)  
久保与次さん(萩市)  
佐古武彦さん(東京都国立市)  
岡本清子さん(広島県広島市)  
川村幹雄さん(萩市)  
花田緑さん(広島県広島市)  
波田伸一さん(萩市)  
阿武紀香さん(萩市)  
波多野實さん(萩市)

価格 7000円  
発行 マツノ書店

(0834・21・2195)



## ■ 樫西小学校同窓会設立新校舎 建築記念誌

「樫西小学校144年のあゆみ」昭和11年度以降毎年の卒業写真や、各年の卒業生による思い出話などが紹介されています。

寄付金1口につき、1冊贈呈されます(1口5000円)。

A4判／196ページ

問い合わせ

樫西小学校同窓会事務局  
(0838・25・2686)

## テレビ情報

■人気ドラマ「HERO」スペシャル 萩でロケ

2001年にフジテレビ系列で放送された木村拓哉さん主演の人気ドラマ「HERO」のスペシャル番組のロケが萩市内で行われました。

このドラマのロケ地となったのは下関市の角島と、萩市内は菊ヶ浜や萩総合庁舎など9か所で、6月上旬に撮影が行われました。

ドラマの中で、どれくらい萩の町が出てくるか、皆さんお楽しみに。

放映予定日 7月3日(月) 午後9時～11時18分

放映局 全国フジテレビ系

## 夏

## 暑いイベント情報!!

### 萩・日本海大花火大会

とき 7月28日(金) 午後8時～9時

ところ 須佐漁港

問い合わせ 須佐総合事務所経済課(08387・6・2219)



### 萩・万灯会

毛利氏の菩提を弔うため、大照院約600基、東光寺約500基の石灯籠にろうそくの火がともされ、幻想的な世界を作り出します。

【迎え火】

▽8月13日(日) 午後7時30分～10時

▽大照院

【送り火】

▽8月15日(火) 午後7時30分～10時

▽東光寺

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

### 萩夏まつり

とき 8月1日(火)～3日(木)

ところ 菊ヶ浜、住吉神社、田町商店街、吉田町

主な催し

【1日】萩・日本海大花火大会

【2日】市民総おどりパレード

「ヨイショコショ」、「トコトンヤレ節」

【3日】ゆかた美人コンテスト、のんた大提灯パレード、お船謡

住吉みこし

問い合わせ 萩商工会議所

(0838・25・3333)

### 須佐湾大花火大会

とき 7月28日(金) 午後8時～9時

ところ 須佐漁港

問い合わせ 須佐総合事務所経済課(08387・6・2219)

### 萩・万灯会

毛利氏の菩提を弔うため、大照院約600基、東光寺約500基の石灯籠にろうそくの火がともされ、幻想的な世界を作り出します。

【迎え火】

▽8月13日(日) 午後7時30分～10時

▽大照院

【送り火】

▽8月15日(火) 午後7時30分～10時

▽東光寺

問い合わせ 萩市観光課

(0838・25・3139)

### まだまだあります!

●萩ヨットレース・砂の芸術祭

▽7月23日(日) 午前8時～

▽菊ヶ浜

●奈古夏まつり花火大会

▽7月22日(土) 午後8時～

▽奈古漁港

●田万川夏まつり花火大会

▽8月25日(金) 午後6時～

▽山口県漁協江崎支店周辺

## ふるさと「萩」で働きませんか?

萩市民病院では、機能強化をめざして、10月から平成19年4月にかけて、看護師・薬剤師などの採用を予定しています。

萩へUターン、Iターンをお考えの方へ、この情報をお知らせください!!

詳しくは、7月18日以降に「萩市公式ホームページ」をご覧くださいか、萩市総務課へ直接お問い合わせください。

募集期間 7月18日～8月18日

(一部の職種は8月7日まで)

募集職種 看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、病院情報システム管理

【萩市公式ホームページ】 <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/index>

【萩市総務課】 ☎0838・25・1239

日本各地の「萩」④

# 二代目 品川駅長の生涯

(東京都目黒区)

一坂太郎 (萩市・特別学芸員)



中央・高杉晋作、向かって右、伊藤俊輔、向かって左三谷国松



三谷国松 (春道)の墓

幕末、長州藩で奇兵隊を率いて幕府軍と戦った高杉晋作の面影を伝える写真は二種が伝わっている。うち、慶応元年(一八六五)に長崎で撮影されたと思われる一枚は、中央に晋作が座り、向かって右側に伊藤俊輔(博文)が立ち、左側の床に前髪のある少年が座る。

少年の名は「三谷国松」という。ペリー来航前年の嘉永五年(一八五三)、萩の村上家に生まれた三谷は、いつのころからか十三歳年長の晋作に憧れ、自分になって付きまとい続けた。

三谷の姓は晋作が与えた。晋作の先祖が安芸国三谷郡に住んでいたことから、晋作も一時「三谷和助」の変名を使ったことがある。その姓を与えたのだから、よほどこの少年を可愛がっていたのだろう。

写真の三谷は禪をにかけている

が、これは晋作用の酒が入った竹筒を持たされていたのだという。晋作を真似て、瓢箪をぶら下げて歩くこともあったらしい。実はこの写真の撮影時、晋作と伊藤は藩の密命を帯び、イギリスに密航するはずだった。晋作は三谷も連れて行くつもりだったらしい。しかしこの密航計画は寸前で中止となり、晋作らは長崎から長州に引き返す。もしこの時、海外を見ていたら三谷の生涯もまた違ったものになっていたのかも知れない。

晋作は慶応三年(一八六七)四月、明治という新時代を眼前にして二十九歳で病没。この時、晋作の金銭が形見分けとして贈られたことが、史料に残る。

明治になり三谷は東京へ出て政府に出仕し、鉄道関係の仕事に就く。名も「国松」から「春道」に改めた。晋作の諱(本名)春風に

あやかっただろう。そして明治二十年には、二代目の品川駅長となる。

ところが三谷は軍人になりたかったから、その心は晴れなかつた。品川駅長の座を退き、しばらく経ったある日のこと。三谷は政治家として活躍する旧知の伊藤博文を訪ねた。軍人への転職希望を聞いてもらうつもりだったのだ。

ところが、伊藤の「いま何をしているのか」との問いに、三谷は思わず「遊んで食べている」と答えてしまう。このため、激務に疲れていた伊藤はかえってうらやましかったので、それ以上何も言えなくなってしまう。

のち三谷は実業界に足を突っ込んだりもしたが上手くいかず、病氣などもあって、すっかり落ちぶれてしまった。昭和十年(一九三五)八月、東京市大森区で没。八十四歳。

墓所は東京都目黒区中目黒の日蓮宗正覚寺。「先代萩」政岡のモデルになった三沢初子の墓所としても知られる、駒沢通りに面した寺だ。

維新の英傑として祭り上げられてゆく晋作と、初代内閣総理大臣を務めるなどの栄達を極めた伊藤。その二人と一緒に写真

に納まりながら、市井に生きた三谷の心境は複雑なものがあつたようだ。ちなみに三谷の面影を伝える写真は、少年期に撮ったこの一枚しか確認されていない。長生きしたにもかかわらず、子孫宅にも伝わっていないという。

## 萩発 旬の味覚便り

# アワビ



萩沖見島産のアワビは

日本最大級

沖で採れるアワビは、クロアワビ・メガイアワビ・マダカアワビの3種。

いずれの種類も、超高級貝で、庶民の食卓からはなかなか遠い存在。生ではコリコリとした歯応え、そして食する者を圧倒する磯の香り。火を通せば、繊細でかつ、奥行きのある旨みを楽しめます。味の評

磯の香り、そして独特の旨味と甘み

お 刺身・酒蒸し・煮貝が代表的な料理法。シコ

シコした食感、磯の香りと独特の旨味と甘み、価格が高いことを納得させる食材の王様。クロアワビ・メガイアワビは刺身には向かず、蒸す料理法や、バターソテーなどがお勧め。ト口箱か水槽で活きているものをお求めください。

価はクロ・メガイ・マダカの順。見島では、昔は(昭和40年代)、ワラジのような大きさのアワビが、漁場の岩礁にいっぱい張り付いていたという事です。